

科目名	生理学 1							年度	2025
英語科目名	Physiology 1							学期	前期
学科・学年	鍼灸科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	岡安維蓉	教員の実務経験		有	実務経験の職種		医学博士、鍼灸師		
<b>【科目の目的】</b> 鍼灸臨床を行う上で、人体の生命現象の機序・特徴及び基礎となる必要な知識である身体機能を学びます。									
<b>【科目の概要】</b> 生理学を学ぶ意義を理解する。人体の生命活動を細胞レベルから理解する。細胞の構造・代謝・機能に関わる基本を理解することから始まり、細胞にとって最適な生体内部環境の恒常性について理解する。続いて血液・心臓・血管を含む循環系と呼吸器系に関する身体内での機能を理解する。									
<b>【到達目標】</b> 鍼灸の学習を進める上で必要な機能に関する知識を習得する。医療の基本となる医学用語を理解すると同時にしっかりと記憶できるように身につけることが必要となる。その上で人体の生命活動のシステムを学び、人体に対しての理解を深める。細胞レベルから生体の内部環境の恒常性を維持するための様々な特性を理解する。									
<b>【授業の注意点】</b> 授業日数の3/4以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。講義時間に無連絡で20分以上遅刻された場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標A神経系の総論	すべて理解できる。身につけている。	理解できる。身につけている。	理解できるが。部分的に身につけている。	医学用語のみ理解できる	学習意欲欠け、学習内容を理解できない。				
到達目標B中枢/末梢神経系	すべて理解できる。身につけている。	理解できる。身につけている。	理解できるが。部分的に身につけている。	医学用語のみ理解できる	学習意欲欠け、学習内容を理解できない。				
到達目標C自律神経系	すべて理解できる。身につけている。	理解できる。身につけている。	理解できるが。部分的に身につけている。	医学用語のみ理解できる	学習意欲欠け、学習内容を理解できない。				
到達目標D筋	すべて理解できる。身につけている。	理解できる。身につけている。	理解できるが。部分的に身につけている。	医学用語のみ理解できる	学習意欲欠け、学習内容を理解できない。				
到達目標E									
<b>【教科書】</b> 東洋療法学校協定指定教科書									
<b>【参考資料】</b>									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 期末テスト：80% 復習小テスト：10% 出欠席状況：10%									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		生理学 1			年度	2025
英語表記		Physiology 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	生理学の基礎	生理学の定義・基礎を学ぶ	1 生理機能の特徴	細胞から器官への構成・ホメオスタシス	3	
			2 細胞の構造	細胞膜の構造・機能・特性		
			3 細胞質	細胞質の構成・細胞小器官の名称・構造・機能		
2	生理学の基礎	前回の復習 引続き基礎を学ぶ	1 細胞核	DNAの構造・塩基の構成・機能	3	
			2 細胞核	RNAの構造・塩基の構成・機能		
			3 細胞分裂	体細胞/生殖細胞の分裂増殖・タンパク質の合成		
3	生理学の基礎	前回の復習 引続き基礎を学ぶ	1 物質代謝	同化・異化 ATPの産生機序	3	
			2 体液の組成・働き	体液の区分・組成 浸透圧・pH・体液量の異常		
			3 物質移動	物質移動の各種類・機能		
4	循環器系	血液について学ぶ	1 復習テスト	生理学の基礎について小テスト実施	3	
			2 血液組成・働き	血液細胞成分・液体成分・主な働き		
			3 細胞成分	赤血球の形状・数・働き・ヘマトクリット値・血沈		
5	循環器系	血液について学ぶ	1 細胞成分	赤血球新生・ヘモグロビンの成分と役割	3	
			2 細胞成分	赤血球の寿命・溶血・ビリルビン代謝・貧血		
			3 細胞成分	白血球の種類・形状・数・役割・新生・寿命		
6	循環器系	血液について学ぶ	1 細胞成分	血小板の形状・数・役割・新生・寿命	3	
			2 細胞成分	血小板の止血機序：血小板血栓・血液凝固機序・線溶系		
			3 血液型	ABO式・Rh式		
7	循環器系	血液について学ぶ	1 体液成分	血漿の成分・働き・血漿タンパク質の作用	3	
			2 体液成分	血液緩衝系：種類・働き		
			3 体液成分	呼吸性・代謝性アシドーシス/アルカローシスの機序		
8	循環器系	心臓について学ぶ	1 循環系の総論	体循環・肺循環・各器官への心拍出量の百分率・構造	3	
			2 心筋	心筋の特性・固有心筋・特殊心筋		
			3 心機能	心周期について		
9	循環器系	心臓について学ぶ	1 心機能	心拍数・心拍出量	3	
			2 心機能	心音・心雑音		
			3 心機能	心電図・心臓の神経支配		
10	循環器系	血液循環について学ぶ	1 血管	構造・機能	3	
			2 血管	種類・構造の特徴・役割		
			3 血管	毛細血管循環の構造・物質交換の機序		
11	循環器系	血液循環について学ぶ	1 血圧	血圧の仕組み・血圧測定・	3	
			2 血圧	脈圧/平均脈圧・高血圧/低血圧・血圧に影響する因子		
			3 循環調節	循環調節の仕組み・局所調節の仕組み		
12	循環器系	血液循環について学ぶ	1 循環調節	反射性調節の仕組み：高圧受容器反射	3	
			2 循環調節	反射性調節の仕組み：化学受容器反射など		
			3 特殊循環	冠状循環・脳循環・内臓循環・皮膚循環など		
13	循環器系	血液循環について学ぶ	1 リンパ系	生成・成分・リンパ管のリンパ液輸送	3	
			2 前期の復習	生理学の基礎		
			3 前期の復習	循環器系		
14	呼吸器系	呼吸について学ぶ	1 小テスト	循環器系の小テスト	3	
			2 呼吸器	外呼吸と内呼吸・呼吸器の構造と機能		
			3 呼吸器			
15	前期最終	期末テストの返答	前期末テスト解説		3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等